



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

ホームページを見てください http://www.amano-shingo.info

## 静岡空港の開港に当たって 静岡ゆかりの——浮田幸吉を売り出す——

来年3月、県民の厳しい眼差しの中、愈々一番機が飛行するところとなりました。

さて、ご存知の方も多かろうと存じますが、日本人で飛行機の発明に奔走した男たちと云えば浮田幸吉、平賀源内、二宮忠八の三人が上げられます。

平賀源内は江戸中期の科学者、「エリキテル」の言葉でお馴染みの人物です、また二宮忠八は明治24年、ゴムを動力にした模型飛行機を試作し、飛行時間5分の記録を

つくりました。

この二人は広辞苑にもその名と業績が記されていますが、残念ながら本市ゆかりの「浮田幸吉」の名前は分厚い人名辞典でなければ見出すことはできません。

12月議会の企画・空港委員会において、私は昨年4月に発行したSHINGO SCOPEの郷土史「日本人で最初に空を飛んだ男 浮田幸吉のコピー」を出席委員に配布した上で、予定される開港イベントに是非とも「浮田幸

吉を顕彰する企画を考へては如何と力説しました。

もとより委員会に出席していた殆どの職員や議員は初めて聞く話、…磐田の大見寺の天井には浮田が江戸末期初めて飛行したと言われる1/2の模型が吊り下げられていること、以前から磐田市では祭りに「浮田幸吉が引き出されている事実、安倍川の河川敷で初めて飛行に成功、即ち日本で最初の滑走路は安倍川であったこと、更には岡山に生れた浮田幸吉の数奇な運命など…委員会の誰もが空港の完成式典に相応しい企画と世辞を戴いたところでした。

勿論、当局にとつて全く予期していない提案であり、時間的制約もありますが、私は磐田市の皆さんと一緒に「浮田幸吉」をこの際、大きく売り出していきたいと目論んでいるところであります。

2007年の世相を漢字1つで表す年末のイベントでは、悲しくも「偽」が昨年を象徴する文字と決定しました。

### 留りを知らない食品偽装

確かに北海道の「ミートホープ」の出鱈目ぶりが新聞を賑わして以来、食品の偽装事件は留りを知らず、白い恋人の「石屋製菓」、ミルクィでお馴染みの「不二家」、お伊勢参りの常套のお土産の「赤福」、遂には和食の老舗「船場吉兆」、そして年末には「マクドナルド」と本当に長い間、新聞の三面を飾り続けてきたのであります。

指摘されれば気持ちは悪いが、私達が若い頃には、賞味期限などといったものは存在せず、自らの「鼻」が賞味期限を決定していたものでした。

時に間違つて腹痛を招いたこともありましたが、殆どの場合「食い気」のほうが優先し、自分の「鼻と舌先」が判断の基準でありました。

食品の偽装問題が、「モグラ叩き」のように表面化し、その度ごとにテレビの映像には企業の代表者がカメラに向つて平身低頭しておりました。その頃、同様に低頭して

## 昨年を象徴した文字「偽」は、ゴメンです

いた方々が「大臣」の肩書きを持つ国会議員でした。

### 次々と大臣の挿げ替え

安倍内閣の発足間もなく先ず佐田玄二郎内閣府特命大臣の事務所費問題が槍玉に挙げられて僅か2ヶ月で辞任、その前にもつと哀れな辞任劇、本間正明政府税調会長は官舎に愛人との同居がばれて辞任しました。

6月、中国の旅先で見たテレビは松岡農林大臣の自殺を報道しておりました。巷間、疑獄事件に発展すると噂されていたこの事件が、まさか「トカゲの尻尾切り」ではないでしょうか、予想外の幕引きに終わった事実には驚くと共に寂しさを禁じえなかつた事件でした。

更に今でも国民の脳裡に焼きついている赤城農相の見るに耐えない姿は単に政治資金の記載漏れや誤魔化しだけでなく、政治家に対する信頼の喪失にも繋がり、これが尾を引いて

安倍内閣の崩壊を導いたのでした。また久間章生防衛大臣らの事務所費問題は余りにもいい加減すぎる姿勢ゆえに叩かれましたが、時に重箱の隅を楊枝でほじくるような新聞記事に「角を矯めて牛を殺す」の格言を思い出したところで。

また、防衛省を火事の現場とする汚職事件は守屋事務次官のみならず複数の政治家の進退に発展するのではなにか腐心していましたが、民主党の「お手つき」もあつて政界への波及は沈静化したようであります。

この他、年初来の懸案事項であつた年金問題は「底なし沼」に陥り、正直、これを救助する手立ては極めて厳しいと言わざるを得ません。お陰で福田内閣の支持率も急降下し、今や30%台に転落、序に株価も低迷し、なけなしの投資家の嘆き節は留まるを知りません。そんな状況下での解散総選挙など「夢のまた夢」の自民党と云わざるを得ません。ところで今年の冬の寒さは厳しいとの観測ですが、お身体には充分気をつけてご活躍下さい。

本年もよろしくご指導のほどお願い致します。

天野進吾

# 静岡の地名の由来

静岡を英訳すれば誰もが「SILENT-TRI」・静かな岡」と回答するでしょう。ところで「TRI」は「丘」を意味する単語で、「岡」と同様に使われておりますが、厳密には些かの違いがあります。

実は「岡」の字は「傍」と同義語で、日常語にも広く使われております。例えば「岡目八目」、これは将棋や囲碁を傍らにて観戦しながら独り数目先まで読んでいる状態をいいます。また「岡引」とは十手もちの手下でうろちよる探索している下つ端の役の呼び名であります。また「傍(岡)惚れ」とは他人の恋人に脇から密かに恋をしている悲しい状態を表現する言葉であります。

このように「岡」という字は「傍」・「脇」の意味合いを持つ漢字であります。昔から静岡市民は優しい人柄、決して人を押しつけて前に出る性格ではありません。会社でいえば取締役であっても社長は向かない謙虚さと人徳が売り物であります。

勿論、地名が市民性を導いているとは思いませんが、何故か静岡市から全国区で活躍する「偉丈夫な人物」はこれまでも殆ど出てはおりません。

将に、静かで脇役に徹する静岡人気が誕生したのであります。

処で、その「静岡」の名前の謂れですが、明治2年、版籍奉還により徳川家達が静岡藩知事に任命されましたが、このとき初めて正式に「静岡」の地名が使われました。

地名の歴史を遡りますと、この辺り一帯を、奈良時代には珠・琉河と表現していましたが、和銅年間に大和朝廷から地名について「漢字二文字」で表すよう全国に通達があり、恐らくこの時に「駿河」の文字を当てたと考えます。その駿河の国府が置かれた所が「駿府」であります。

大政奉還によつて徳川幕府は終焉、天皇を中心とする新体制が生まれました。

15代将軍徳川慶喜は「水戸」から徳川発祥の地「駿府」に転居します、しかし全国各地には幕臣といわれる武士団が厳しい環境の中で雌伏しておりました。

明治政府は慶喜が府中に住まいするにおよび、この地が「不忠」の発火点になる事を恐れ地名の変更を決め、駿河学問所の塾頭・向山黄村に命じたのでした。

黄村は市民が浅間山と愛称する賤機山の「賤」をとり「賤が岡」と考えたが、「賤」は不相当とし、更に新政府の思いに沿うよう「静岡」と命名したのであります。

その「静岡」を敢えて分解するなら、冒頭の如しであります。

## 一寸一言 私の雑記帳から

### ダイダイについて

このSHINGO-SCOPE 49号がお手元に届く頃には、皆様がお宅でも、新年を迎える「鏡餅」が準備されているものと存じます。

何故か、その鏡餅の上に不安定ながら、「だいたい」が一つ乗せられ、また玄関の「お飾り」にも重そうにぶら下がっております。

「だいたい」を漢字で書けば「橙」ですが、その命名の由来が面白いのでご存知の方もおられるでしょうが、正月向きの「一寸一言」として紹介します。

ダイダイの実は冬に黄熟するが、そのまま置くと翌年の夏には再び緑色に戻ります。さらにこれを放置して、冬を迎えればまた黄色(橙)になります。

果実が木にある間、毎年、色変わりを繰り返すことから「だいたい」と名付けられ、家系が「代々」続くことを願つて正月の縁起物になりました。

## 毛筆で遊ぶ

一月二日は書初め。多くの年賀状がパソコンで作られる時代となりましたが、その中に、毛筆で書かれた年賀状の文字を見ると、不思議な安らぎを感じるのとはなぜでしょう。

長い歴史と伝統をもつ書道の世界にも、最近は新しい風が吹いています。相田みつをさんの書に代表される、大胆で個性的な文字や心にしみる言葉が、カレンダーやポストカードなどによく見受けられるようになりました。

今年の書初めでは、久しぶりに墨をすって毛筆を手にしてみてはいかがでしょうか。書の心得がなくても、絵を描くような気持ちで大胆な文字を書けばいいのです。多少バランスが悪くても、それもまたいい味わいになるでしょう。

最近では書の上手下手以前に、パソコンに頼りすぎて手書きの文字を書く機会がずいぶん減っています。手を動かす書道は脳のトレーニングにもなりそう。書初めを機に、毛筆を手にする時間を増やしてみるのも一案です。

## 歴史講座のお知らせ

町内会の集會、サークル活動などに天野進吾を呼んでみませんか。嬉しいことに最近、グループや町内会などで『天野進吾』の歴史講座の要望が増えて参りました。

このSHINGO-SCOPEの郷土史が好評です。その現れかもしれません。どうぞ、お気軽にお声掛けください。